

# 平成24年度 岡山県学力・学習状況調査結果の概要

平成24年9月  
瀬戸内市教育委員会

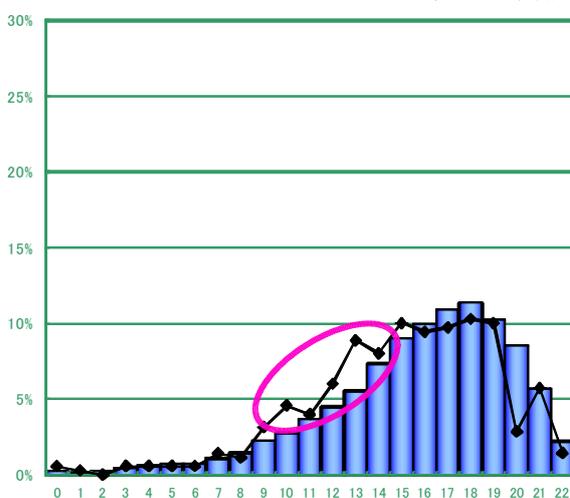
瀬戸内市では、次のように岡山県学力・学習状況調査を実施しています。

- 1 実施対象学年 市内全中学校1年生  
調査対象学年は中学1年生ですが、検査問題は小学校6年生までの内容になっています。
- 2 実施日時 平成24年4月17日
- 3 実施内容 小学校：国語 社会 算数 理科  
学習状況調査  
\*調査対象学年は中学1年生ですが、検査問題は小学校6年生までの内容になっています。

## 1 平成24年度 中学校1年生の結果

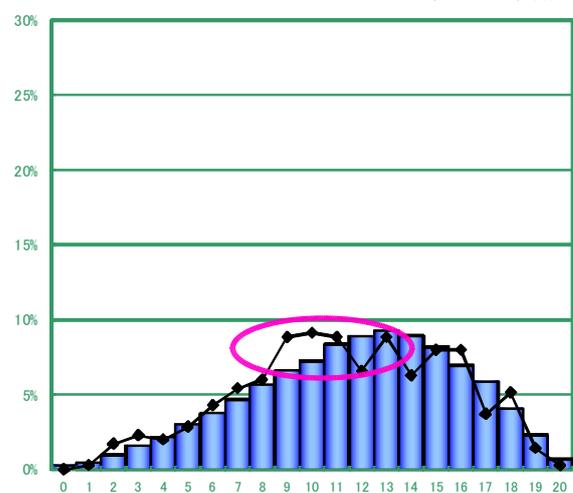
市/県	国語	正答率	領域別正答率		社会	正答率	領域別正答率	
			基礎	活用			基礎	活用
瀬戸内市		68.2	72.5	59.1		56.6	56.7	56.1
岡山県		71.4	75.1	63.4		58.7	59.2	57.0

★正答数度数分布



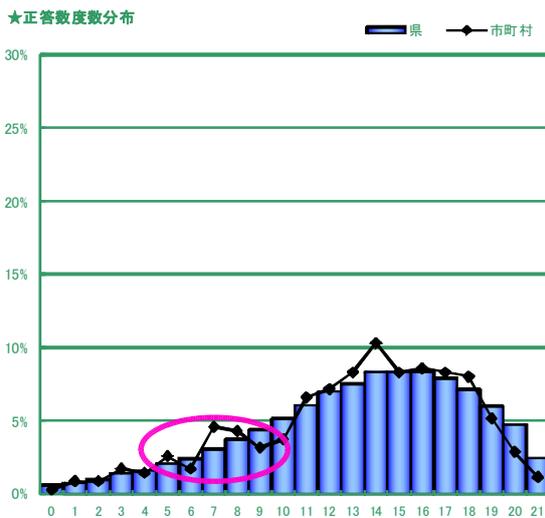
(国語)

★正答数度数分布

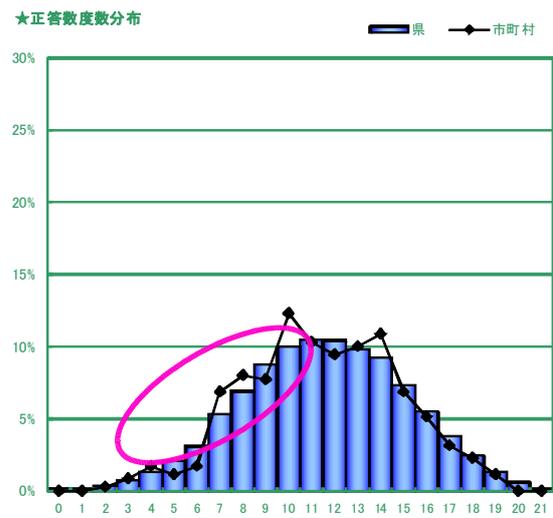


(社会)

市/県	数 学	正答率	領域別正答率		理 科	正答率	領域別正答率	
			基礎	活用			基礎	活用
瀬戸内市		62.2	72.2	37.2		54.4	60.5	42.2
岡山県		63.2	72.7	39.6		54.9	60.7	44.5



(数学)



(理科)

### (調査結果の概要)

○4教科では社会、数学、理科が県平均よりやや低いものの、ほぼ同等といえる範囲です。しかし、国語については県平均との差が大きくなっています。

○国語…正答率で県平均と3.2ポイントの開きがあります。特に活用の領域では4.3ポイントと開きが大きく課題が認められます。

○社会…正答率で県平均よりやや低くなっていますが、昨年度と比較すると点数が伸びており、県平均との差も縮まってきています。

○数学…正答率で県平均よりやや低くなっていますが、昨年度と比較すると点数が伸びており、県平均との差も縮まってきています。

○理科…正答率では県平均とほぼ同等です。昨年度と比較すると点数が伸びており、改善されています。

○正答率の分布は県の分布に比べて下位層に位置する生徒の割合が高くなっているのが大きな課題です。(  の部分)

## 2 質問紙調査の結果

県平均と比較した瀬戸内市の子供たちの現状  
肯定的に答えた割合が県よりも高い項目

項	目
<input type="radio"/>	将来の夢や希望を持っている。
<input type="radio"/>	今住んでいる地域の行事に参加している。
<input type="radio"/>	1日30分以上読書をしている。
<input type="radio"/>	授業時間以外に本を読んだり借りたりするために図書室や図書館を利用している。
<input type="radio"/>	本を読んでいる。
<input type="radio"/>	学校の宿題をしている。
<input type="radio"/>	授業の終わりにまとめや振り返りをした。
<input type="radio"/>	読書は好きだ。
<input type="radio"/>	理科の勉強は好きだ。

肯定的に答えた割合が県よりも低い項目

項	目
<input checked="" type="radio"/>	ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある。
<input checked="" type="radio"/>	近所の人に会ったときはあいさつをしている。
<input checked="" type="radio"/>	テレビやビデオ、DVDを見ている時間が1日に2時間以下である。
<input checked="" type="radio"/>	土、日など学校が休みの日に2時間以上勉強をしている。
<input checked="" type="radio"/>	学校で学習した内容について、家で自分なりに整理し直したりより深く調べた。
<input checked="" type="radio"/>	携帯電話の使い方について家の人との約束を守っている。
<input checked="" type="radio"/>	自分で計画を立てて勉強している。
<input checked="" type="radio"/>	社会の勉強は好きだ。
<input checked="" type="radio"/>	数学（算数）の勉強は好きだ。

(考察 昨年度との比較も含めて)

- 地域の行事に参加している割合は県平均よりかなり高く、地域との関わりを大切にしている様子がうかがえます。
- 本を読んでいる割合が、昨年度は全国値より低かったのですが、今年度は全国値を上回り改善されています。
- 家庭での学習時間が県平均より少なく、テレビやビデオを見る時間が多くなっています。家庭で学習を全くしない割合は減ったものの、全体的な傾向は昨年度と変わらず、学習時間は平均値を下回っています。
- 自分なりに計画を立てて勉強をしたり、学校で学習した内容をもう一度家で考えたりする割合が県平均に比べて低くなっています。この傾向は昨年度と変わっていません。